

意見交換・質疑応答

多摩府中保健所：S氏

田村先生の「上手に食べるために必要なこと」のスライドについて、「機能」・「形態」・「意欲」のバランスとあったが、「機能」とは食べ方のこと、また、「形態」というのは、口腔の形態と食の形態という2つの言葉が考えられるが、いかがでしょうか。

日本歯科大学：田村文誉 氏

スライドにあった3つの輪は、お子さん本人のことを意味しているので、歯などの「口腔の形態」が整っていること、また、「摂食機能」と「食べる意欲」の3つという意味で、捉えていただければと思う。

社会福祉法人：I様

感想であるが、全体に障害や事業所の区分により違った工夫をしていて、どの施設も良かった。特に健口体操は、利用者が発声するなど発想になかったので、施設で共有したい。また、ゆうあい館について、地域の特性を活かした口腔ケアの取組が印象的であった。

市障害支援課：H様田村先生から、「今後意欲を高めていかないといけない」との締め括りがあったが、障害所管の行政として、どのような意欲を高める取組をしていけばよいか助言をお願いしたい。

日本歯科大学：田村文誉 氏

医療として摂食指導をしていくと機能を伸ばそうとして、本人の食べたい気持ちからかけ離れた指導になりがちであるので、まずは本人の意欲を伸ばすことを第一にという話をした。そこをどう支援していただけるか、難しいと思う。おそらく元気な人に比べると、施設利用者の方は、食事について、規則正しく、皆さんと一緒に摂ることになり、また自分で選べない方が多いので、本人の意思や選択を引き出すような関わりができるように皆で考えていただきたい。

市健康推進課：M様（歯科衛生士）

ボランティアとして、ブラッシング指導に関わるようになり浅いが、利用者の方と意思疎通がはかれるようになると、こちらの意欲も上がってくる。本日は参考になることが多く、ありがとうございました。

福祉作業所：T様

各施設で、どのように歯ブラシ等の管理をされているか、教えて欲しい。